

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	茨木市												
計画の目標	下水道整備を推進し、いごちの良き生活環境の保全に貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	336	A	336	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	本市における下水道処理人口普及率は99.4%で概成しているが、国際文化公園都市（彩都東部地区）土地区画整理事業の進捗にあわせて汚水幹線を整備するとともに、未普及地域の解消を図るため計画期間内に汚水管L=1,541mの整備を完了させる。 計画期間内における汚水管の整備率（%） 計画期間内の汚水管整備済延長（m）／計画期間内の汚水管整備延長（m）	0%	71%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	中央処理区污水整備事業	φ200～350 L=1,541m 他	茨木市	■	■	■	■	■	336	—	—
											小計						336		
											合計						336		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

茨木市建設事業評価委員会（外部有識者）

事後評価の実施時期

令和8年2月

公表の方法

茨木市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

污水管整備により下水道処理人口普及率が向上し、下水道の利用により生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全が図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き污水管整備及び未接続家屋への接続切替促進に努め、更なる下水道処理人口普及率の向上を図っていく。

- ・未普及箇所への污水管整備

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	計画期間内における污水管の整備率（%）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%